

『豊かな心を育む栽培活動』

あま市立七宝北中学校

## 1 目的

- (1) 花の栽培や野菜作りの活動を通して、自然を大切にする心情を育むとともに、自然に生かされていることへの感謝の気持ちを育てます。
- (2) 卒業生の胸花を在校生が作成し、メッセージを添えて手渡すことで、今までお世話になった先輩への感謝の気持ちを伝えます。

## 2 内容

### (1) 花壇整備

5・6月に環境園芸委員会で花壇の整備をした後、花壇のデザインを考え、ポーチュラカの苗植えを行い育てました。暑い夏も水遣りを忘れず、花壇を花いっぱいにしました。冬から春にかけてはパンジーやビオラの苗植えを行い育てています。

### (2) 野菜作り

校内菜園を作り、特別支援学級の生徒が野菜を育てました。夏休みに、菜園の水遣りや草取りを忘れず、収穫したトマト、なす、ピーマンなどの野菜を家庭に持ち帰り保護者と調理しました。



卒業生の胸花作り

### (3) 卒業生の胸花作り

卒業生の胸花を1年生が、一言メッセージを2年生が、一人一人が感謝の気持ちをこめて作成し、卒業式で胸に飾ってもらうよう贈ります。

## 3 評価

生徒たち自身が花壇整備や野菜作りに関わることで、自然を大切にする心が育ったり、校内環境の整備について意識が高まったりしつつあります。花壇の整備については、夏休み中の土曜日・日曜日やお盆の間にも環境園芸委員会の生徒が交代で水遣りを行うなど、意欲的に取り組むことができました。

特別支援学級の生徒の野菜作りでは、自分たちが育てた野菜を収穫し、調理して食べることの喜びを知ることができました。

卒業生の胸花作りでは、お世話になった先輩へ、自分たちが作った胸花や一言メッセージを贈ることができるように、説明をしっかりと聞き、感謝の気持ちをこめて意欲的に取り組むことができました。

## 4 課題

生徒たちは、花壇の整備や野菜作りなど、自分に与えられた仕事に意欲的に取り組むことができました。さらに、生徒自身が自分自身で考え、積極的に活動できるようにしていきたいと考えています。